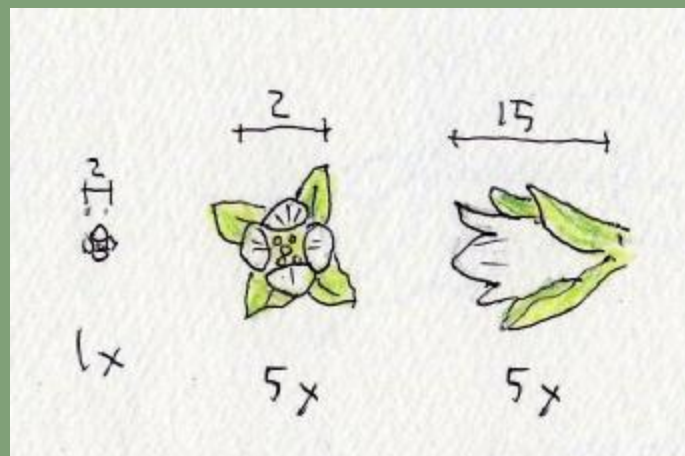


見沼たんぼ・野草スケッチ 「ハシカグサ」

科名：アカネ科 ハシカグサ属

花言葉： -



16. 9. 1 土呂にて

P.S. 土呂の見沼用紙西縁近くを歩いているとふと目についた草がありました。その花はすこぶる小さく先端は4裂でした。家に持ち帰り図鑑とネットで調べてみました。

ハシカグサという。ハシカって、あの子供が罹る病気の名前？

葉が乾くと赤褐色に変わる様子が、ハシカの発疹が乾くにつれて赤から褐色に変わる症状に似ているため、という説もある。



「ハシカグサ」

原産地：本州から琉球列島に見られ、中国から東南アジアまで分布。

生育地：山野から道ばたまで、やや日陰の湿ったところ。

茎：軟らかな1年生の草本⁴。茎は枝分かれして地を這い、長さ30-40cmになって地表を覆う。

葉：葉柄は長さ5-15mm、葉身は長さ1.5-6cm 幅0.5-2cm。卵形または狭卵形、先端はとがり、基部は狭まり、両面に白い軟毛がある。

花期：8-9月

花・花色：葉腋から1個ずつ花をつける。花は白で、経2mm、先端は4裂、その裂片は卵形で先端はとがっている。

種子：径3mm。種子は小型で多数

特徴：一年草。とにかく際だった特徴が無く、見逃されやすい植物である。

名前の由来：上記にあり。和名については、牧野は『語源はよくわからない』という。

記述は、ウィキペディアのサイトなどを参考にさせていただきました。

2016. 10. 5